

福島からみる地方の課題と可能性

特定非営利活動法人
素材広場

profile

公益財団法人福島農業振興公社 理事
福島県中小企業振興審議会(商工労働部)
福島県商業まちづくり審議会(商業まちづくり課)
福島県都市計画審議会(土木部)
福島県都市政策推進専門小委員会(土木部)
安心安全推進会議(危機管理部)
福島県立テクノアカデミー観光プロデュース学科 非常勤講師
福島県農業普及指導協力委員
ふくしまを語る人(生活環境部)
3.11知事メッセージ 起草委員会(企画調整部)

* 福島県のもののみ抜粋

福島県PTA連合会母親代表理事(平成27年、28年度)

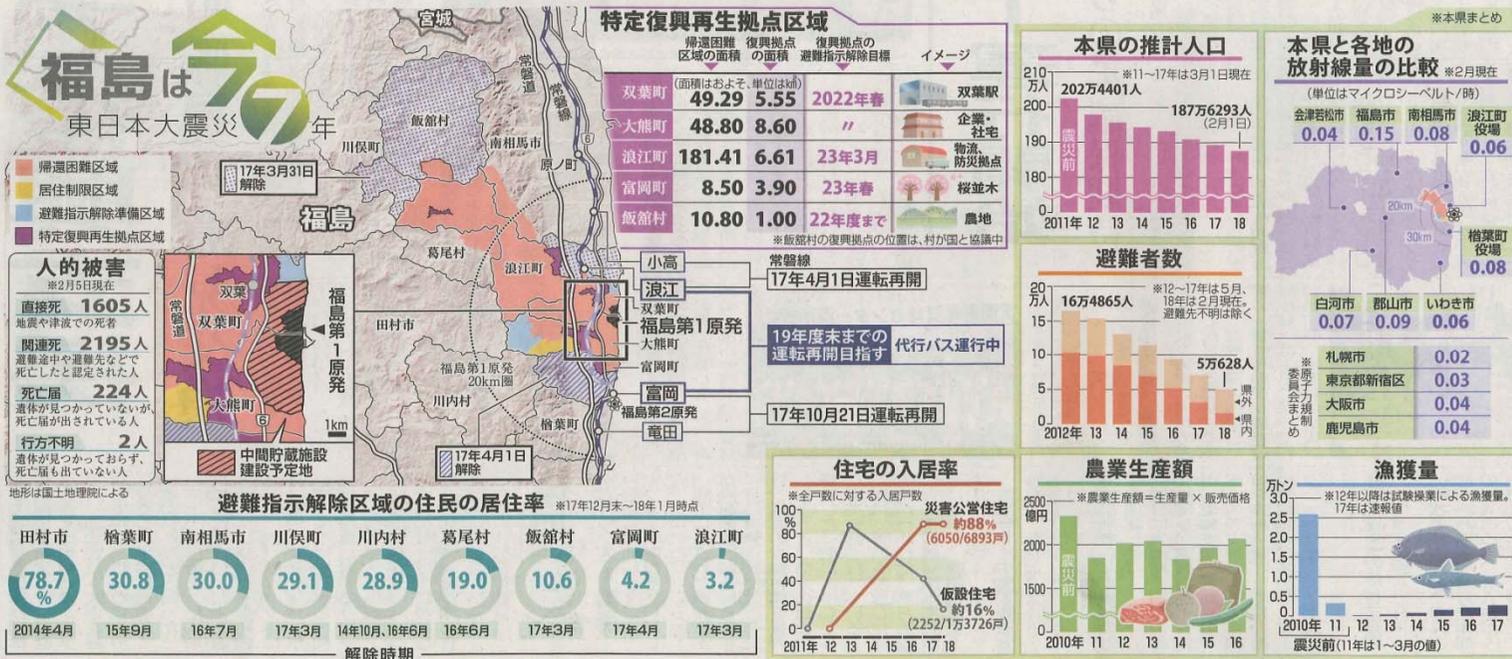
20年後が一気にきた福島

テーマ 福島は今

特集 震災

7年

直面する課題 複雑化



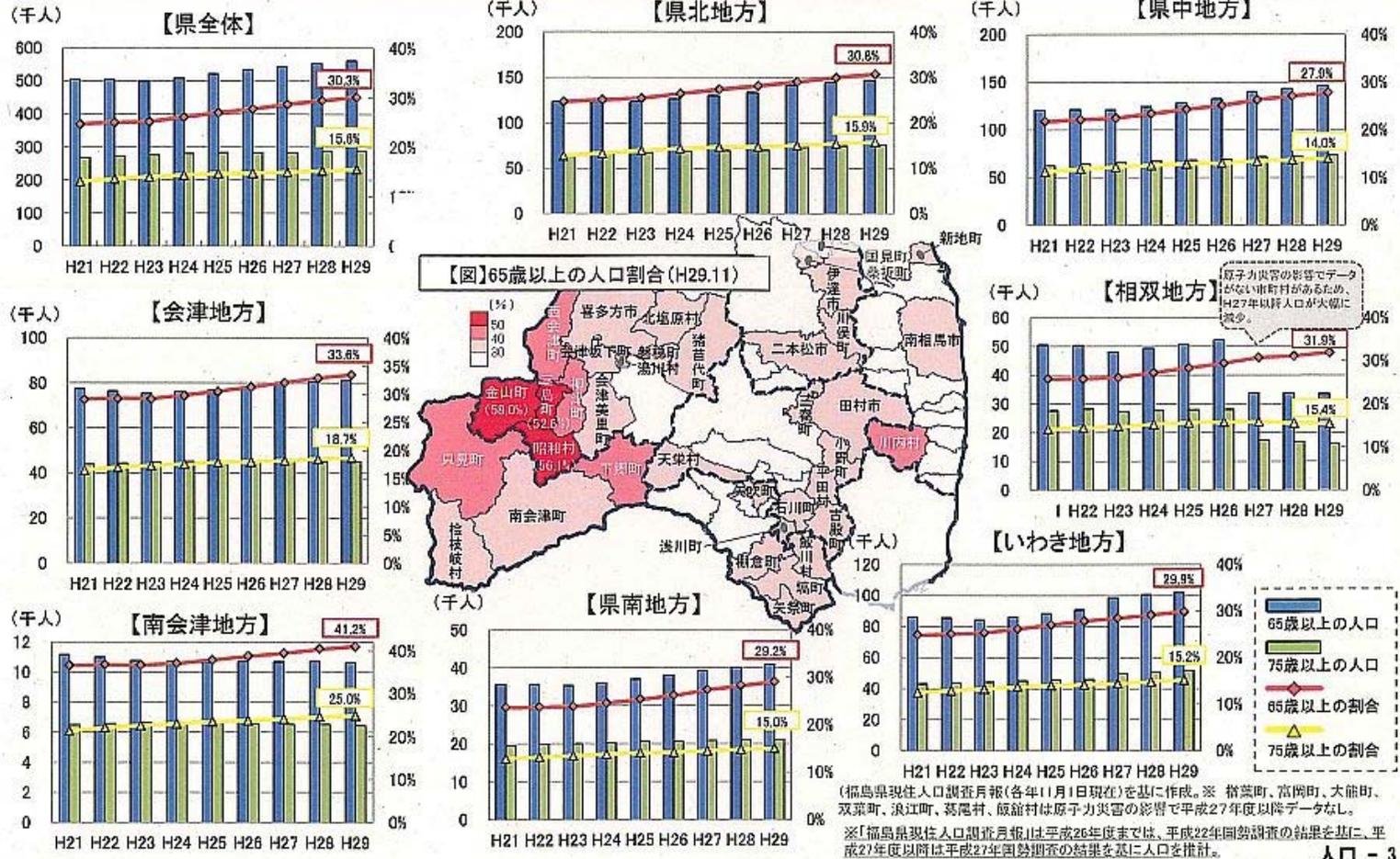
県人口 平成23年203万人→30年188万人

平成30年3月2日 福島民友

高齢化率

(2) 高齢化の状況

○ 県全体で高齢化が進展する中、会津地方、南会津地方では高齢化率が特に高い。



今福島で起こっていること

20代30代が本当に少ない。

【観光分野】スタッフ・料理人不足

東日本大震災の被災者を宿が一時受け入れを行った。その際、仲居さんなどを解雇したことで、通常営業になった2011年8月以降、スタッフ不足がずっと続いている。

【農業分野】作っても誰が売る

農業の売上減を6次化商品に切り替え、農家のモチベーションを保ってきた。しかし人手不足の中、作った後の対応ができず広がらない。

【若手が残れない】

福島のために働きたい子どもはたくさんいるが、受入れ側の情報発信不足。

【行政力の縮小】健保協会出張所の閉鎖(福島市一カ所に)等

NPOの役割とできること

NPOとは地域の課題を解決するために存在する法人と考えます。



例：地域の6次化商品等を郵便局ネットショッピングで販売。

商品登録をNPO法人で行う。

例：買い物弱者用のための買い物配送システムを構築し、商品の受け取りを郵便局にする。

例：規格外野菜の出荷・集荷で小さな農業サポート

例：山間部在住者の病院通い者の受診予約サポート